

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が小康状態になるなか、緊急事態宣言の解除や気温の変化もあり、中間層の客が大きく動き出してきた。行動範囲の拡大により、婦人服のリニューアルゾーンや婦人雑貨が2年ぶりに良い動きとなり、それとの買い回りの効果で、菓子類や総菜も好調な動きとなった。また、富裕層向けの特選品や海外の高額衣類、宝飾関係も堅調に推移している。
	◎	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・前週末の来客数は、コロナ禍の発生前に近いレベルに戻ったと感じる。
	◎	百貨店（服飾品担当）	単価の動き	・緊急事態宣言の解除が9月末に報道されてから、徐々に客足は戻り始め、前年の今の時期と変わらない入店客数となっている。都心店舗、郊外店舗共に、売上も前年を上回っている。都心店舗はラグジュアリー関連がけん引し、郊外店舗はフード関連がけん引する構造となっている。客からはワクチン接種が終わり、ようやく自由に買物ができる安心感が出てきたという声が多い。新型コロナウイルスの新規感染者数の減少とともに、今後は更に来客数が増える。
	◎	一般レストラン（企画）	販売量の動き	・10月に入り、売上の前年比がほぼ100%に近づき、前々年比でみても同様の水準に戻ってきている。ただし、深夜営業の再開に向けて、雇用の確保が厳しい状況となっている。すぐには再開できないため、前年比で100%を超えるには、まだしばらく時間が掛かる。
	◎	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で人流が増加し、観光地にも人が訪れるようになってきた。さらに、当県では旅行に地域割クーポンが利用できるため、景気の回復に寄与している。
	◎	旅行代理店（役員）	来客数の動き	・当県での県民割事業が限定的とはいえ開始したため、来客数が急激に伸びてきた。ただし、県境をまたぐ旅行の需要はまだ戻ったとはいえず、販売価格は伸びていない。
	◎	観光名所（経理担当）	販売量の動き	・7月と比較すると、10月は観光バスでの来場や修学旅行の団体客がみられ、販売量以上に来客数は増えている印象を受ける。
	◎	競輪場（職員）	単価の動き	・緊急事態宣言が解除されて上昇したのか、3か月前の客単価は1万1450円であったが、今月は1万2685円となっている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・10月中旬以降は人出が増えている。ただし、客足の引きが早い点は変わらない。
	○	一般小売店【花】（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により、徐々に得意先からの発注が増えている。
	○	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・緊急事態宣言が完全に解除となった。30日までの来客数は、前年比で3.1%減少とやや少ないが、土日の入店を含め、月末にかけて急速に回復してきた印象を受ける。この状態が継続できれば、年末にかけて本格的な景気の回復につながる。
	○	百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月から緊急事態宣言が解除され、来客数は増加傾向にある。食品フロアでの店舗のリニューアルオープンもあり、売上は前年の実績を確保できそうである。また、自宅で正月を過ごす傾向が続いているため、おせち料理の予約状況も好調に推移している。
	○	百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、全国的に新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向にあるなか、来客数が明らかに増加している。ようやく外出できるようになったという客もみられ、消費意欲の上昇がうかがえる。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・10月に入り、来客数が前年を上回るようになってきている。買上が劇的に増えているわけではないが、街はかなり活気付いている。
	○	百貨店（営業推進担当）	来客数の動き	・店頭でも、客との前向きな会話が増えている。

○	百貨店（販促担当）	来客数の動き	・外出に関してはコロナ禍の影響が薄れ、街に人出が戻ってきている。前半は高い気温が影響し、購買の動きは鈍い状況であったが、後半は気温が大きく低下し、衣料品も活発に動き出している。イェナカ関連だけでなく、消費全体が活発化し始めている。
○	百貨店（特選品担当）	来客数の動き	・3か月前は緊急事態宣言の発出中であったが、10月に入って解除された。新型コロナウイルスの新規感染者数も減少し、来客数は明らかに増加している。
○	百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・月後半に入って、緊急事態宣言の解除後の移行期間が終了し、来客数や売上などが前年を超えるレベルに回復してきた。ただし、コロナ禍前のにぎわいには程遠く、購買も本当に必要な物に限るなど、堅実な様子が見られる。
○	百貨店（宣伝担当）	来客数の動き	・ようやく緊急事態宣言が解除され、月末には時短要請も全面解除となったことで、客足がかなり戻ってきた。飲食店の営業時間が長くなり、特に平日の夕方以降は、会社帰りの人出が増えている。
○	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品については、大きな変化が感じられないが、衣料品では明らかに外出需要とみられる動きがある。特に、上着などのアウターやバッグなどの服飾品が上向している。
○	スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で外食が増えたのか、来客数は維持しているものの、客単価は下がっている。その分外食が増えていると推測され、周囲の飲食店も営業が活発になってきている。
○	スーパー（店長）	単価の動き	・レディースを中心に、高単価の洋服や服飾関連が売れ始めている。
○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で、近くの飲食店やビジネススクールなどの営業が解禁となり、日中の人通りも戻ってきた。来客数は昼間が3か月前と比べて7%、夜間は25%ほど増加している。
○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・居酒屋への時短要請が解除になったため、客が少し動き出したと感じる。
○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除でやや良くなっている。
○	コンビニ（店員）	来客数の動き	・コロナ禍が少し落ち着き、外出する人が増えている。
○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・10月初旬は若干の持ち直しにとどまったが、その後の飲食店への各種制限が解除されたタイミングに合わせて、当店の来客数も前々年並みに持ち直している。
○	家電量販店（店員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除、時短営業の解除によって人が動き出す。年末にかけてボーナスが支給され、購買意欲も上がるため、来客数に動きが出てくる。
○	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、来客数が回復してきた。特に、電気料金の値上げに伴い、暖房対策として省エネタイプのエアコンの販売量が伸びている。
○	家電量販店（人事担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により、外出に意識が向かうようになり、販売量が少しずつ伸びている。また、気温が急に下がったことで、電気ストーブやファンヒーターなどの暖房器具の売行きが良くなっている。
○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除となり、少しずつ消費が戻ってきたように感じる。
○	乗用車販売店（営業企画）	販売量の動き	・徐々に来客数が増え、前年比で5%増加している。
○	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・時短営業と酒類提供の停止要請がなくなった25日以降、明らかに予約数が増えている。
○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除される前から、深夜の営業を続けてきた店舗は、今も全く影響なく客が入っている。一方、自治体の要請を守っている店舗は、まだまだ元に戻っていないが、20日からはキャッシュレス決済のポイント還元が始まり、昼間はその効果で若い客などの来店が増えている。
○	観光型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・徐々にではあるが、客が増えている。

○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、予約は非常によく動いている。
○	都市型ホテル（管理担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されて、来客数が増えてきている。
○	都市型ホテル（フロント）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除もあり、ビジネス関連の需要回復が著しい。ただし、レジャー利用の回復はまだまだであり、今後のGo To Travelキャンペーンの再開に期待している。
○	都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除に続き、飲食店への一部の規制は残るものの、徐々に緩和されていることで、これまでに比べて来客数が大きく増えている。今後、自治体による観光推進策の実施で、更なる利用が期待される。
○	都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や、緊急事態宣言の解除により、宿泊の予約が徐々に増加しつつある。レストランもアルコール類の提供が可能となり、ディナータイムの売上がやや増加しつつある。
○	都市型ホテル（販売促進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除になり、今月は宿泊の稼働率が20%台から40%台に回復した。ただし、一気に上昇したわけではなく、様子見のなところもある。レストランは緊急事態宣言の解除とともにディナーを再開したが、動きは余り増えていない。一方、ランチは土日の来客数は少ないものの、平日は1日の平均来客数が前月よりも115%増加している。
○	都市型ホテル（客室担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により、来客数が増えつつある。秋の紅葉シーズン到来に向け、京都の観光需要は週末を中心に回復してきている。
○	旅行代理店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除や、飲食店での時短営業の緩和、旅行の県民割の開始もあり、来客数が増えている。
○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・当地域の県民割による旅行の申込件数が増えている。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除となり、10月からは客の間に安心感が広がっているが、まだ恐怖感があるのか、夜の飲食の客は少ない。
○	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が一時的に落ち着いており、消費の回復の兆しが出てきつつある。
○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたことで、観光客の動きも回復しつつある。
○	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	お客様の様子	・来客数の改善はみられるが、力強さに欠ける。以前のようにゆっくりと買物を楽しむというよりも、大勢の客が集まる施設では、短時間で目的の買物を済ませる人が多い。
○	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除を受けて、外出の意欲は上昇している。
○	美容室（店員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、来客数が増加している。
○	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客からの相談案件が増加しつつある。
○	住宅販売会社（総務担当）	来客数の動き	・契約件数は変わらないが、客の動きが活発化し始めている。
○	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・不動産価格の変動は余りみられない。
○	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に関する報道が増えたほか、当社社員のワクチン接種率もほぼ100%となり、営業の予定が組みやすい状況になった。客からのコロナ禍関連での訪問キャンセルは、ほぼなくなっている。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・今月はかなり忙しかったわけではないが、全く誰も来ないわけでもなく、淡々と1か月が過ぎた印象を受ける。売上が厳しい状況は変わらないが、売上にはつながらなくても、来客数がゼロの日がなかった点は好材料である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	販売量の動き	・東京オリンピックが終わり、新型コロナウイルスの感染状況も収束、衆議院選挙と進んでいくなかで、景気は上がらない気がしている。今後は不安な要素の方が多く、購買意欲も低い状態が続くと感じる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上ベースでは、前年比で2%程度アップしている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減っているせいか、以前よりも少しは人通りが増えてきたと感じる。ただし、販売量は数か月前と変わらず、依然として厳しいままである。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・飲食店やゴルフ場の取引先が多いが、飲食店関係は緊急事態宣言の解除から間もないため、様子見で少しずつしか動いておらず、まだまだ本格的な回復は見られない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕（店員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で外出の機会が減り、着物を着てのお茶会なども再開されていないため、来客数がかなり減少している。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・コロナ禍の影響が続き、販売量に回復はみられない。前年と比べれば徐々に上向いているとは感じるが、手放しでは喜べない状況である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は売上目標が未達で、前年比でも微減の見通しである。緊急事態宣言が解除され、来客数は少しずつ戻りつつあるものの、月前半は気温が高く、アパレルを中心に秋物商材が不調に終わった。月後半は秋物商材の動きが回復したが、これまでの減少を取り戻す勢いはない。リベンジ消費に期待を掛けているが、動いているのは限られた商品のみである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後の10月の売上は、前回に緊急事態宣言が解除された7月に近い動きとなっている。8～9月と比べると大幅な改善傾向がみられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、Go Toキャンペーンなどの施策もなく、回復の動きは非常に緩やかである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・来客数を前年と比較すると、ほぼ横ばいで推移している。緊急事態宣言などで封鎖していた入口を、客の利便性の観点から開放したが、その影響もほとんど感じられない。今までと変わらず、目的のある客が来店する状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がかかなり減っているものの、来客数はまだ前年の水準に戻っていない。高級時計や海外ブランド品は好調であるが、婦人服や紳士服などは売上が落ち込んだままである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	来客数の動き	・10月に入って緊急事態宣言が一斉に解除され、対象外であったエリアも含めて、来客数が増加している。ただし、消費税増税の影響で不調であった2年前の実績には届かず、着実な回復とはいえない。売上も前年の水準は上回りつつあるが、目標には届いていないなど、購買行動も戻ったとはいえない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・今月の来客数は前年比で3.5%増えており、8月の7.0%減少や、9月の4.7%減少に比べて改善傾向にある。ただし、コロナ禍前の2019年と比べると、約12%減少している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	単価の動き	・緊急事態宣言の解除、新型コロナウイルスの新規感染者数の急減で、着実に来客数が戻ってきている。原材料高による商品の値上げはあるが、買い控えはなく、客単価も改善傾向にある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	お客様の様子	・客のディスカウント志向が強まっているようで、売上に占める特売比率が高くなっている。

<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されて外出が増え、外食需要も増加しているが、売上に大きな変動はない。巣籠り消費の動きは、すぐには変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除となったが、企業の在宅勤務やリモートワークは定着している。若干の改善はみられるものの、日中の労働人口は相変わらず低い水準で推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言も解除され、場所によっては人の動きが増えたが、店の売上に直接反映されていない。分野によっては、緊急事態宣言の解除が売上の増加につながるが、実感としては店舗の様子に余り変化がない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	単価の動き	・まとめ買いの客は減っているが、飲料水やたばこなどを単品で購入する客が増えており、来客数も増えている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	販売量の動き	・緊急事態宣言下の3か月は家電の売行きが悪く、解除後の見通しも立たない。人の流れは増えた印象であるが、来客数の増加はみられず、今後も当面は変わらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店長）	それ以外	・9月頃から徐々に客は戻ってきているが、海外の仕入先が大幅な値上げを通知してきた。現状は販売価格を上げにくく、利益率の低い状況はむしろ悪化している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が収束しつつあったが、今度はガソリン価格の高騰で、様々な物価が上がってきている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	来客数の動き	・前年の水準は上回っているが、来客数は伸び悩んでいる。1人当たりの単価や買上点数も、依然として低水準であり、対策に苦心している。新型コロナウイルスの感染が落ち着きをみせ、感染対策の商品が余り売れていない影響が出ている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、飲食業の来客数は元の水準には戻らない。新型コロナウイルスの感染第6波の発生や、新規感染者数の増加を心配する人も多いため、景気の底上げには到底結び付かない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減っているが、緊急事態宣言の解除後の再拡大防止のための制限期間中は、まだ客足に変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により、景気の回復が期待されるが、まだ来客数の増加にはつながっていない。それに伴い、販売量の増加もみられない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少によって人流が増え、週末を中心にガソリン販売量は増加傾向にある。その一方、このところの原油価格の高騰もあり、景気が良い方向に向かっているとは言い難い。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染症対策に慣れ、新たな買物のスタイルに変わってきている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの関連商品の受注が落ち着き、例年どおりの販売が続いている。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	販売量の動き	・なかなか上向きの状態にならない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、もう少し旅行の申込みなどに勢いが出るかと期待していたが、まだまだ伸び悩んでいる。客からは、Go To Travelキャンペーンなどの支援策が始まるまでは申込みを控えるといった声もあり、一刻も早い再開が望まれる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が収束に向かいつつあるものの、客の乗車機会は減少したままであり、流し営業での営業収入は、コロナ禍以前の5～6割の水準のままである。

□	タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーの稼働台数は元に戻りつつあるが、その割に客単価が低い。駅での客待ちについては、まだ終電後の客が少ない状態が続いている。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・今のところは不透明であるが、良くなることを願っている。
□	美容室（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、少し予約が戻ってきているが、動きは弱い。
□	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・7月頃から、建材や住宅設備等の値上げラッシュが始まっており、燃料費も上がり始めているなど、住宅関連の原価は上がったままである。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築分譲マンションの販売は好調な状況が続いており、在庫が減少している。一方、新規供給物件の事業用地の取得競争が激化している。
□	その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・住宅展示場の来場者数は前年並みであるが、事前に予約してのモデルハウス見学が常識となりつつあるため、今までのような集客イベント頼みとは異なる。
□	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・富裕層の消費行動に強さがみられる。希少性の高いマンションなどへの引き合いは強く、価格の上昇にも余り抵抗がない。一般の実需層の動きも、弱含んではいるが堅調に推移している。ウッドショックの影響も弱まりつつある。
▲	スーパー（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後は、食品の売上が落ちてきている。
▲	スーパー（店員）	販売量の動き	・天候の安定で野菜の値段が下がり、客も買いやすくなったが、客単価が下がっている。果物も、柿やみかんの価格が安く、3か月前よりも客単価が下がっている。
▲	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除に伴い、家庭内での食事に関する特需が徐々に減っている。日持ちのする備蓄食材や米飯、レトルト、乾麺などは販売数量が減少し、総菜も同様に減少している。
▲	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・コロナ禍による自家需要が減少し、日用品や園芸、自転車などの動きがコロナ禍前の水準に戻ってきている。
▲	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除による外出需要の回復に伴い、コロナ禍で続いていた中食、内食需要の増加に鈍化がみられる。特に、首都圏を中心とした都市部で、その傾向が顕著となっている。
▲	スーパー（社員）	単価の動き	・前月から今月にかけて、コロナ禍が急速に収束に向かうなか、休業や時短営業が多かった飲食店の状況が、通常に戻りつつある。このため、これまでスーパーで獲得できていた売上が、飲食店に流れつつあると感じる。
▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月は緊急事態宣言が解除されたが、まだ人の流れの変化は感じられない。それ以上にたばこの値上げの影響が大きく、たばこの売上が戻らないため、売上全体に影響が出ている。
▲	コンビニ（店員）	来客数の動き	・10月はまだ緊急事態宣言の影響が残っていたのか、余り来客数が伸びていなかったと感じる。ただし、旅行客やグループでの来店が、少しずつではあるが確実に増えてきたと感じる。
▲	家電量販店（経営者）	それ以外	・半導体不足と東南アジアのロックダウンの影響がまだ残り、商品の入荷が安定せず、売上が伸びない。
▲	家電量販店（店員）	単価の動き	・客が希望する価格であれば検討するなど、指値のような商談が今まで以上に増えてきた気がする。さらに、飽くまで検討であり、即決はしないという、以前には余りなかった商談となっている。ただし、指定される商品は、インターネット上でもよく目にする商品の場合が多く、傾向としては新たな値引きを引き出し、安く買うことを重視していると感じる。
▲	通信会社（企画担当）	それ以外	・原油価格の高騰に始まり、様々な物の値段が上がっている一方で、収入は上がらない。また、中国経済の変調で株価が安定していないこともあり、景気の先行きに不安を感じている。

	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されても、会合のほか、友人同士の 多人数での外出や会食は自主的な自粛が続いているため、 来客数は落ち込んだままである。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数が少ないため、ショッピングセンターなどの売場 が閑散としている。売りたい客が来ないと売れない。
	×	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・輸入車業界は、半導体の影響で生産面での制約があり、 入荷がかなり減少している。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、様々な制限はあるものの、今 月からは飲食店への来客数が回復すると期待していたが、 スタートとしては鈍い。利用者側にも、新型コロナウイルス の新規感染者数の増加に対する不安もあるため、本格的 な外食産業の回復にはまだまだ時間が掛かる。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	広告代理店 (営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・広告はWe b 媒体、紙媒体共に、前年の売上を上回って いる。
	○	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言が解除され、今まで受注が止まっていた取 引先から、少しずつであるが注文が入ってきている。
	○	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・全国的にも各種の制限が解除になり、人の流れも増えて いる。飲食店向けの売上も、少し増加傾向にあると感じ る。
	○	繊維工業 (団体 職員)	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言の解除により、受注がやや増えてきてい る。
	○	出版・印刷・同 関連産業 (企画 営業担当)	受注量や販売量 の動き	・コロナ禍が落ち着きをみせ始めたことで、経費を何でも 削減するのではなく、必要な経費は使っていくという傾向 が感じられる。
	○	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・前年は新型コロナウイルスの悪影響を受けたが、今年 は半導体関連の活況に助けられ、売上は前年比で30%超の増 加が続くなど、これまでは典型的なK字回復となってい た。ただし、いつまでも前年との比較を続けることには違 和感もあるため、これからは将来を見据えていきたい。な お、最近の月次の景気は横ばいで推移している。
	○	輸送用機械器具 製造業 (役員)	取引先の様子	・搬送設備の新規生産ラインに関する問合せや、引き合い 件数が増えている。
	○	金融業 (営業担 当)	それ以外	・緊急事態宣言が解除となり、全ての動きが変わるため、 良い方向に動くことを期待している。
	○	広告代理店 (営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言の解除が決まり、10月以降の交通関連の広 告出稿が少し上向いている。
	○	経営コンサルタ ント	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除され、少しずつ現状に対応した動き が出てきている。取引先の飲食店では、以前の7割程度 の客しか戻らないと想定し、今後どうしていくかを考えて いる。また、呉服店に至っては、産地が反物を生産してい ないため営業ができず、各種支援金で食いつなぐ状況が続 いている。全く楽観できる状態ではないが、少し人が動き 始めたことで、店も動き出している。
	□	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言は解除となったが、状況はこれまでと変わ らない。石油価格の高騰で材料価格が値上がりしたため、 販売価格の値上げ交渉を開始している。
	□	窯業・土石製品 製造業 (管理担 当)	受注量や販売量 の動き	・国民の7割程度がワクチン接種を完了し、新型コロナウ イルスの新規感染者数も減少傾向にあるため、緊急事態宣 言が解除となった。ただし、受注量や販売量の動きに大き な変化はなく、景気回復の実感はない。感染の抑制傾向が しばらく続けば、受注量や販売量が増加し、景気回復に実 感が出てくると予想されるが、現状はまだ不透明である。
□	金属製品製造業 (営業担当)	受注価格や販売 価格の動き	・物の動きは悪くないが、原材料価格の急激な値上がり に対し、販売価格への転嫁が進まない。	
□	一般機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・この1年は引き合いや売上が激減しており、今月もその 状況は変わっていない。	
□	一般機械器具製 造業 (設計担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注量については上向いているが、原材料費などのコス トの上昇で、少々厳しい状況である。	

	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・売上、受注共に横ばいである。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除となったが、実売の推移に大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・良くなることもなく、悪くなることもない。ただし、リモートワークなどの影響もあるのか、全体的に客との接点が少なくなったと感じるほか、社内でもコミュニケーションが取れていない。その影響が受注面に出ているのかもしれない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・日本だけでは解決できない原材料価格の高騰や、コロナ禍による海外工場の休業で、完成品が生産できない状況が深刻である。建設資材の高騰や、製品不足による納期の問題により、予算や工期に悪影響が出ている。
	<input type="checkbox"/>	金融業（副支店長）	取引先の様子	・ワクチンの接種率も上がっており、少しずつ外出が増えている。ただし、回復している実感はない。
	<input type="checkbox"/>	金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・コロナ禍は一定の落ち着きをみせているが、政府も企業も疑心暗鬼となっている。この1年数か月で疲弊しきった中小企業の経営者が、悪影響を抱えたままで従来のような流れに乗っていけるかは、難しいところである。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・主要な駅では、乗降客数が前々年比で約70%まで回復したものの、駅ナカ店舗の売上は約65%と、消費者の購買意欲は回復していない。ただし、10月中旬以降は気温の低下が進み、冬物商材が売れ始めたため、今後の回復に期待している。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注は入っているが、状況は余り良くないままである。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・引き合いは増えているが、取引の数量が減っている。また、材料の入荷遅れなどから、受注しても納品できない状況である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後は、催事などでの販売の機会も増えてきたが、その多くは消費者向けの販売会である。地方への出張が増えた割に、売上はコロナ禍前の20%減少となっており、回復するまでには時間が掛かる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車の生産減少により、電装関連の出荷が減少してきている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規案件が減少している。海外調達の一部品が入手できないため、動きが悪い。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍による半導体不足、海外からの部品の入荷遅れなどで、自動車関連業界の工場稼働率が大幅に落ちている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新築、リフォーム共に、客の予算が減少気味である。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・木材の価格が高くなっているほか、海外でのロックダウンの影響により、商品が入荷しない状況が続いている。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言は解除されたが、景気は悪いままである。企業が店舗や事務所を借りて、設備投資をしようという環境になっていない。それに伴って空室率が上がり、事務所の賃料が下がっている。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染の収束時期が見通せない。
雇用関連	<input checked="" type="checkbox"/>	*	*	*
(近畿)	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・緊急事態宣言の解除により、朝の通勤電車も混み始めている。また派遣の依頼件数も前年実績を上回り、コロナ禍前の9割程度に戻ってきている。特に20～30代の求人数は多く、求職者がなかなか見つからない状態である。

○	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・緊急事態宣言の解除により、明らかに人出が増えている。今後は消費に勢いが生まれると予想される。
○	人材派遣会社 (役員)	求人数の動き	・ここ数か月は求人数の伸びが鈍化していたが、10月はかなり回復している。
○	新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	それ以外	・緊急事態宣言の発出中と、解除後を比べると、景気は良くなっている。
○	新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	求人数の動き	・新聞求人状況は、構造的な問題もあり低空飛行が続いている。ただし、新型コロナウイルスの新規感染者数や重症者数も激減し、緊急事態宣言も解除されたため、今まで大きなダメージを受けてきた飲食や旅行、観光などの業界では、本格的な回復に備える動きが見られる。
○	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・各種制限の解除により、雰囲気的には回復に向かっている。コロナ禍前の水準には戻っていないが、印象は良い。
○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年比で5か月連続の増加となっており、回復基調にある。ただし、2年前との比較では2けたの減少が続いており、まだコロナ禍前には戻っていない。
○	民間職業紹介機関 (営業担当)	求人数の動き	・内定が解禁となり、今年度の採用の充足状況や、次年度の新卒採用予定が徐々に明らかになってきた。今年度の充足状況は、前年と比べて未充足や採用継続中の企業が多く、今後の求人の増加が見込めそうである。次年度の採用予定数も増加傾向にあり、コロナ禍による採用減は短期的な動きであったようである。ただし、求職者である学生の動きが鈍いため、マッチングがうまくいっていない。
□	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・下半期に入ってから、派遣業界は好調を維持している。1～3か月の単発とみられた案件も、ほとんど年度末まで延びそうで、下半期は好調が維持できそうである。
□	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・下期に入り、一旦求人数は落ち着いている。
□	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・大阪でのハローワークの新規求人数は、前年比で0.8%の増加と3か月連続で増えた。主に製造業や情報通信業、その他のサービス業で増加したが、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業では減少となり、弱い動きが見られる。一方、新規求職者数は前年比で0.4%の増加と3か月連続の増加となった。解雇などの会社都合の離職は5か月連続で減少したものの、在職者や自己都合の離職者の増加が続き、休業中に転職活動を始める人や、先行きの不安を感じて自ら退職する人もみられる。
□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年並みで推移している。
□	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求人数は依然として底堅く推移しており、製造業の一部では改善がみられる。
□	学校〔大学〕 (就職担当)	それ以外	・週に4日間、1府2県をまたいで通勤しているが、緊急事態宣言の解除後は、人の流れが大幅に増えている。ただし、商業施設での動きを見ると、人の気持ちが消費に向かうまでには、もう少し時間が掛かる。
▲	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	それ以外	・コロナ禍の影響がまだまだ残っており、関西の地元企業からの新聞広告は、依然として厳しい出稿状況が続いている。
▲	民間職業紹介機関 (営業担当)	求人数の動き	・新型コロナウイルスによる特需で、求人数や求職者数が増えていたが、一旦落ち着いている。通常の派遣求人のみになり、求職者数も減少している。
▲	学校〔大学〕 (就職担当)	求人数の動き	・コロナ禍の発生前と比べると、事務系の求人数が少なくなっている。コロナ禍の影響が小さい業界では、変わらず求人の動きが続いているが、全体的にはトーンダウンしている。
×	—	—	—